

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	苦情やご意見をいただいた場合、職員で共有し、対応を行っているが、どのように対応しているかなどを運営推進会議で報告していない為、すべてのご家族に周知しきれていない。 施設での対応や取り組み状況を知っていただくためにも、運営推進会議で取り上げ、議事録に残し公表する仕組みを構築する必要がある。	ご家族やご入居者からのご意見やそれに対する姿勢、取り組みの状況などを運営推進会議で取り上げ、家族にも公表する。	① ご入居者からの苦情相談を受けた場合、苦情相談記録を作成する。 ② ご家族からの苦情相談を受けた場合、苦情相談記録を作成する。 ③ 苦情相談記録を元に、ケア、業務の改善に努めるよう、会議、メールで改善策を周知する。 ④ 苦情相談記録を運営推進会議で報告し、改善出来ている事を報告し、会議事録に残す。 ⑤ 運営推進会議議事録をご家族に郵送し、報告する。 ⑥ 運営推進会議で、改善策でさらに改善できるアイデア等が無いか呼びかけ、改善に取り入れる。	6ヶ月
2	27	24時間のご入居者の生活スタイルを把握するための記録、ケアプランへの反映はできているが、より一人ひとりの好みや心身の状態変化に合わせたケアができるようにアセスメントを充実する必要がある。	センター方式を活用し、今までの暮らしや思いをさらに知り、サービスにつなげる。	① 受け持ち入居者のセンター方式シートの作成 ② 各担当がセンター方式シート、日常の様子からケアプランの評価を行い、ケアマネジャーと協力しながら、ライフサポートプランを作成する。 ③ ご入居者のニーズに応じて、外出の機会、地域住民との交流の機会を積極的に設ける。	12ヶ月
3	2	地域との交流については、クリスマス会や餅つきなど、地域の力を借りながら行事をすることで、徐々に関係性が構築できているが、今後、ご入居者の生活に潤いを持たすことができるように、さらなる関係構築が必要。	地域各種団体の活動と積極的に関わり、ご入居者にとって暮らしの中での楽しみを増やしていく。	① 交流スペースを使用する各種団体に、ご入居者の参加許可を得る。 ② ご入居者の希望する交流スペースでの活動に参加する。 ③ その他、社会福祉協議会が主催するサロン等の案内も流し、希望があれば参加できるようにしていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。